

郵政民営化委員会（第150回）議事要旨

日 時：平成28年3月24日（木） 9：30～10：20

場 所：永田町合同庁舎3階 郵政民営化委員会室

出席者：増田委員長、米澤委員長代理、老川委員、三村委員、清原委員

ゆうちょ銀行 田中取締役兼代表執行役副社長

1. 概要

- ・ ゆうちょ銀行から、資産運用の高度化に向けた取組及び預入限度額の引上げに向けた準備の状況についてヒアリングを行った。

2. 委員会での説明・意見等

○ 運用の高度化の準備状況等について【資料150-1】

（1） 説明の概要

- ・ ゆうちょ銀行から、運用戦略の高度化に向けた取組として、
 - ① サテライトポートフォリオの見直しと充実（投資手法と投資先の多様化等）
 - ② 組織態勢の整備（新たな分野の投資に係る担当部署の設置及び組織再編等）
 - ③ 適切な報酬制度（業績連動型報酬制度）の導入について説明があった。
- ・ 4月1日に予定されている預入限度額の引上げについては、
 - ① システムの修正等システム面の対応を終え、政令の公布日以降の顧客周知に向けて準備を進めていること
 - ② 今後とも、貯金残高のモニタリング等必要な対応を行っていくことについて説明があった。

（2） 委員からの意見等

- ・ ゆうちょ銀行においては、今回の限度額の引上げが順調にスタートできるよう、システム対応に万全を期すとともに、預金残高の状況等をしっかりとウォッチし、それを報告願いたい。
- ・ 運用の高度化に当たっては、マーケットが不安定な中、利ざやを増やすだけでなく、地方銀行との協調融資など国民生活につながるような運用が増えるのが望ましい。
- ・ 国債金利がマイナス金利となり、日銀当座預金にもマイナス金利が適用される中、どのような対応をとるのか。
(⇒全体のリスク水準を考慮しながらであるが、もう少し金利リスクを取った運用も検討していきたい。)
- ・ リスク管理だけではなく、投信販売のための人材育成が必要ではないか。
(⇒日本郵便の投信販売の人材を来年度倍増するなどの対応を行うほか、ゆうちょ銀行においても指導を行う人材の育成を図っていく。)
- ・ リスク管理態勢について、人材を配置していくとのことだが、具体的には。
(⇒リスク管理部門に専担の役員を配置するとともに、経験者の採用も行っていく。)

以上

(注) 議事要旨は事後修正の可能性があることに御留意ください。また、詳細については追って公表される議事録を御覧ください。